建設文教常任委員会

開催日	令和6年3月12日
時間	午前9時30分～午前11時47分
場所	委員会室
出席議員	野々部 享、齊藤 紗綾香、天野 武藏、飛永 勝次 松川 秀康、松岡 繁知、伊藤 奈美 (伊藤 嘉起議長)
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 河口企画部長 岩田総務部長 長谷川建設部長 猿渡建設部参事 岡田人事秘書課長 林企画政策課長 服部財政課長 村瀬土木課長 鈴木都市計画課長 伊藤上下水道課長 前田新清洲駅周辺まちづくり課長 川村土木課課長補佐 近藤都市計画課課長補佐 中野上下水道課課長補佐 林新清洲駅周辺まちづくり課課長補佐 石原土木課係長 六浦土木課係長 大竹都市計画課係長 野口上下水道課係長 森本新清洲駅周辺まちづくり課係長
関係職員	後藤議会事務局長 鹿島議会事務局次長兼議事調査課長 炭竈議事調査課係長
議案又は協議事項	1. 建設文教常任委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

ただいまから、建設文教常任委員会を開会いたします。

去る2日29日の本会議において、建設文教常任委員会に付託となりました議案について審査いたします。

建設文教常任委員会の所管は、建設部、水道事業及び教育委員会でございます。

日程といたしましては、本日、建設部、水道事業所管分について審査し、教育委員会所管分については、明日13日に審査したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」 の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

御異議ございませんので、本日は、建設部、水道事業所管分を、明日3月13日に教育委員会所管分を審査するよう進めさせていただきます。

この後、審査に入るわけですが、質疑者あるいは答弁者は、必ず挙手をしていただき、指名の後、名前を名乗ってから、質疑あるいは答弁に入ってくださいようお願いします。

各委員の質疑におかれましては、簡明で議題の範囲を超えない発言となるように心がけてください。

なお、発言が明白な錯誤、趣旨不明瞭、不適切と判断した場合は、委員長において議事整理を行う場合がありますので、御承知おきください。

また、御自身や他の委員の質疑が終了した後、関連質問を行う場合は、その旨を宣言し、内容が逸脱しないようにしてください。

最初に、議案第1号 令和6年度清須市一般会計予算案の建設部、水道事業所管分について説明をお願いいたします。

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長 (前田 敬春君)

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田です。

議案第1号について、建設文教常任委員会建設部所管分の歳入を一括して御説明いたします。

それでは、タブレットのmoreNOTEの設定を1画面表示にしていただき、令和6年度一般会計特別会計予算書及び説明書の7ページを御覧ください。

第3表地方債です。

建設部所管につきましては、上から6段目から9段目までです。

まず起債の目的及び限度額です。道路等整備事業は、限度額9,900万円です。清洲駅前土地区画整理事業は、限度額9,700万円です。新清洲駅北土地区画整理事業は、限度額4,700万円です。新清洲駅付近鉄道高架整備事業は、限度額4,600万円です。

次に起債の方法です。

起債の方法は、それぞれ普通貸借又は証券発行です。

次に利率です。利率は、それぞれ4%以内です。

最後に償還の方法です。

償還の方法は、政府資金及び県資金については、融資の条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによります。

続きまして、歳入について御説明をいたします。20、21ページを御覧ください。

一番上の表で、14款使用料及び手数料、1項使用料、6目土木使用料、本年度5,106万円、1節道路橋梁使用料と2節都市計画使用料で、主なものは、1節のうち、道路占用料4,669万3,000円、2節のうち、水の交流ステーション使用料93万6,000円です。

7目消防使用料、本年度522万5,000円、1節消防使用料のうち、建設部所管は、庄内川水防センター使用料200万3,000円です。

続きまして、22、23ページを御覧ください。

一番上の表で、2項手数料、3目土木手数料、本年度81万4,000円、1節都市計画手数料で、主なものは、屋外広告物許可手数料81万3,000円です。

続きまして、24、25ページを御覧ください。

一番上の表で、15款国庫支出金、2項国庫補助金、5目土木費国庫補助金、本年度1億1,651万1,000円、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金で、主なものは、1節のうち、道路メンテナンス事業補助金3,531万円、2節のうち、社会資本整備総合交付金（都市公園等事業）1,500万円。

続きまして、28、29ページを御覧ください。

一番上の表で、16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産費県補助金、本年度1,258万4,000円、1節農業費補助金のうち、建設部所管は、単独土地改良事業補助金672万円、多面的機能支払事業補助金122万4,000円、排水機維持管理事業補助金312万7,000円です。

6目土木費県補助金、本年度4,557万7,000円、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金で、主なものは、1節のうち、市町村土木事業費補助金（一般土木事業）2,450万円、2節のうち、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金（市民参加緑づくり事業）300万円です。

続きまして、30、31ページを御覧ください。

一番上の表で、3項県委託金、4目土木費委託金、本年度24万円、1節都市計画費委託金です。

続きまして、32、33ページを御覧ください。

一番下の表で、19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、本年度23億1,619万6,000円、1節基金繰入金のうち、建設部所管は、森林環境整備等基金繰入金400万円。

34、35ページを御覧ください。都市計画施設基金繰入金3億円です。

続きまして、一番下の表で、21款諸収入、4項受託事業収入、2項土木費受託事業収入、本年度614万9,000円、1節都市計画受託事業収入です。

続きまして、36、37ページを御覧ください。

5項雑入、2目雑入、本年度8億2,312万5,000円。

38、39ページを御覧ください。

5節農林水産業費雑入のうち、建設部所管は、土地改良施設維持管理適正化事業交付金990万円です。

7節土木費雑入で、主なものは、新清洲駅付近鉄道高架事業補償金1億5,300万円です。

8節消防費雑入のうち、建設部所管は、庄内川水防センター光熱水費負担金69万円です。

続きまして、40、41ページを御覧ください。

上から2つ目の表で、22款市債、1項市債、5目土木債、本年度2億8,900万円、1節道路橋梁債と2節都市計画債で、2節のうち、主なものは、新清洲駅前土地区画整理事業債9,700万円です。

建設文教常任委員会建設部所管分の歳入の説明は、以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

続きまして、歳出に移ります。

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

続きまして、建設部所管の歳出を御説明します。

72、73ページを御覧ください。

4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費、本年度2億2,725万4,000円、8節旅費から18節負担金、補助及び交付金までです。建設部所管につきましては、市道野田町1号線等整備費1,350万円、市道朝日貝塚東線等整備費2,000万円、市道野田町舟付1号線等整備費2,000万円です。

続きまして、74、75ページを御覧ください。

3項上水道費、1項上水道費、本年度4,307万2,000円、18節負担金、補助及び交付金と23節投資及び出資金です。主なものは、名古屋市上下水道局水源施設負担金860万9,000円です。

続きまして、76、77ページを御覧ください。

6款農林水産業費、1項農業費、4目農地費、本年度1億880万円、7節報償費から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、土地改良費6,733万6,000円です。

続きまして、80、81ページを御覧ください。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、本年度1億875万5,000円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

続きまして、2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費、本年度1,109万2,000円、11節役務費から18節負担金、補助及び交付金までです。

続きまして、82、83ページを御覧ください。

2目道路維持費、本年度4億3,822万7,000円、10節需用費から15節原材料費までです。主なものは、道路維持補修費2億8,504万3,000円です。

続きまして、3目道路新設改良費、本年度5,931万6,000円、10節需用費から21節補償、補填及び賠償金までです。

主なものは、市道西田中蓮池線等整備費4,900万円です。

続きまして、4目橋梁維持費、本年度6,420万円、12節委託料と14節工事請負費です。主なものは、橋梁維持補修費5,000万円です。

続きまして、3項河川費、1目河川総務費、本年度1,462万6,000円、10節需用費から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、五条川ふるさとの川管理費758万

8,000円です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課長の鈴木です。

続きまして、84ページ、85ページを御覧ください。

4項都市計画費、1目都市計画総務費、本年度1億8,846万8,000円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、都市計画事務費940万1,000円です。

2目土地区画整理費、本年度3億9,924万6,000円、1節報酬から21節補償、補填及び賠償金までです。主なものは、新清洲駅北土地区画整理費、土地区画整理事業費2億4,699万2,000円です。

3目街路事業費、本年度2,673万9,000円、10節需用費から16節公有財産購入費までです。主なものは、街路管理費2,379万7,000円です。

続きまして、86ページ、87ページを御覧ください。

4目鉄道高架費、本年度2億8,314万円、8節旅費から21節補償、補填及び賠償金までです。主なものは、鉄道高架整備費1億9,687万8,000円です。

5目公共下水道費、本年度11億2,223万6,000円、10節需用費から23節投資及び出資金までです。主なものは、下水道事業雨水処理負担金4億9,175万1,000円です。

6目都市下水路費、本年度4,455万4,000円、10節需用費から14節工事請負費までです。主なものは、都市下水路等整備費3,300万円です。

7目公園費、本年度1億6,926万2,000円、10節需用費から14節工事請負費までです。主なものは、都市公園管理費9,401万5,000円です。

88、89ページを御覧ください。

9款消防費、1項消防費、4目防災対策費、本年度1億8,196万9,000円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。そのうち、建設部所管は、庄内川水防センター費1,347万5,000円です。主なものは、庄内川水防センター整備費853万9,000円です。

建設文教常任委員会建設部所管分の歳出の説明は、以上でございます。

御審議のほど、よろしく申し上げます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございました。

これから質疑に入りますが、質疑については、ページごとに行います。

はじめに、7ページの地方債をお願いいたします。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

1点教えてください。この4つの地方債のうち、道路等整備事業ですか、これは具体的に何に使われるかということをお聞かせいただけたらと思います。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

当局、答弁。

服部財政課長。

財政課長（服部 浩之君）

財政課長、服部です。

道路等整備事業債9,900万円のうち4,200万円は、道路ストック点検対応分として、公共施設等適正管理推進事業債を充てます。

それから、5,700万円分につきましては、枇杷島陸橋架け替えに伴います雨水管等の整備費に合併特例債を充当する予定です。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

この7ページ、地方債はいいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

では次、歳入に入ります。

20、21ページ。いいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

22、23ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

24、25ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

28、29ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

30、31ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

32、33ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

34、35ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

38、39ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

40、41ページ。

では、歳入の方はいいですね。では続きまして、歳出に移らせていただきます。

72、73ページ。いいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

74、75ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

76、77ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

80、81ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

82、83ページ。

伊藤委員。

伊藤 奈美委員

伊藤です。

82ページの道路維持費のところ、委託料の道路ストック点検費というところで質問なんですけど、新川の堤防とあと五条川、アイカ工業の五条川沿いの道の草刈りについて質問なんですけれども、毎年夏になると、すごく草が生い茂ってしまっていて、安全に問題があると近隣の方から苦情をいただくんですけれども、今年度も何かそういう苦情があったら、その都度対応していただけるということでしょうか。

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

村瀬土木課長。

土木課長 (村瀬 巧君)

土木課、村瀬です。

まず草刈りにつきましては、年2回草刈りを行いまして、あとそのほか交差点とか、どうしても通行上支障のある所は、うちの現場作業員の方で草刈り等対応させていただきます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長 (野々部 享君)

伊藤委員。

伊藤 奈美委員

たびたび私が家が近いので、お願いすることが多くなるかと思うんですけれども、またよろしくをお願いします。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ほかに。飛永委員。

飛永 勝次委員

その下の街路灯費のところを教えてください。主要政策は244ページになりますが、まず、この街路灯費に関しては、多分5,500万円のうち、ほぼほぼ電気代とリース料、LEDの、なっていますね。なんです、640万円、前年から予算が削減になっている、この理由を教えてください。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

こちらは電気代が下がったことにより減額によるものです。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

電気代が下がった。分かりました。

ちょっと角度の違う話です。この後、リース、ここに書いてあるように、リース料なんでリース契約になっていて、多分あと2年ほどでリースアップになって、多分これ所有権が全て清須市に移管されるという形になると思います。これまず、当初リースしたLEDの灯数と現在のLEDの灯数で、現在のものは多分リース後に設置したものがあると思うんですけども、全体数で幾つで、内訳ですね。現在の内訳をちょっと教えていただけますか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

まずリースの本数につきましては、5,628本になります。今、街路灯全体といたしましては、6,424本管理しております。新設した街路灯につきましては、234本設置をしております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは、街路灯の管理の契約は、5, 628本になっているんですか、リース会社と。それ以外は、直接管理という形でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

村瀬課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

議員のおっしゃるとおり、市のほうで管理しております。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは、リースアップ後に所有権が移った場合、今の管理していただいているところとは、どんなお付き合いになるかと、変な話ですけど、直接管理してると結構どうなんでしょう。時間的な労力コストは、結構かかると思うんですけど、今、234本と増えた分の800本の1,000本近くは、直接管理となっているんですが、何かこの辺の今後の管理の方向性とか、もしあれば教えてください。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

村瀬課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

今のところパナソニックとリースの契約をしておるんですけど、リースアップ10年後につきましては、市内の業者、今も点検、維持管理していただいておりますので、そこに任せていきたいと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

多分、その台帳、どこにどんなものがある、電気代が幾らかかっているかと、大事なものはきちっと整備がされていて、この事業をやったからだと思うんですけども、管理がスムーズにできるという理解でよろしいですかね。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

村瀬課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

委員の理解で結構です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

このページよろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

では次に行きます。84、85ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

都市計画事務費、都市計画費のところ、主要施策の概要が249ページになるんですけども、市街化編入資料作成業務とありますが、これは、土田・上条と、あと今回新しく事業認可のために動いている一場の東部だと思うんですけども、これは、市街化編入に向けてのスケジューリングというのは、おおむねあるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課長の鈴木です。

編入の時期につきましては、今委員おっしゃったとおり、まず土田・上条と一場東部があるんですが、一場東部につきましては、今御承知のとおり、区画整理の組合を立ち上げようということと発起人会がございまして、こちらが、令和9年度の組合設立を目指しております。その関連もありまして、前年の令和8年度に市街化編入をしまいたいという考えがございまして、

一方、土田・上条につきましては、こちら御承知かと思うんですけど、地域の方々と企業の

方が今話をして、民間の開発を大規模に進んでいこうとしているところでございますので、この辺りの進捗に合わせて実施していくということになりまして、一場東部と一緒に歩調で合わせれば一番いいんですけども、その辺りは、事業の進み具合をしっかりと見据えながら、時期を決めていきたいと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ありがとうございます。土田と上条のほうは、基本的には企業さんの誘致のための民間開発が進んでいるという理解をしておるんですけども、それでよろしいですか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

おっしゃるとおり民間主導で進んでいく事業でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

民間さんでやってもらうときに、あそこは、非常に田んぼがメインのところですので、保水力が、当然埋め立てることで随分減っていくというリスクがあると思うんですが、こういったことは、企業誘致課と連携を取りながらやっていらっしゃると思うんですけども、開発してる民間企業さんは当然理解して進めていただいている、こういったコストがかかるよということで理解してもらっている。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

当然おっしゃるとおり田んぼ、保水力の高い田んぼがたくさんございまして、これがなくなってしまうということで、企業のほうも当然理解して、それも踏まえた事業、開発を検討していく

ということをやっております。あわせて、当然30年降雨確率とかでの対応とか、あるいは、た
ん水防除、元々の保水力を補うためのもの、あるいは、細かいこと言いますと下流のあま市さん
のほうに影響がどれだけ出るかとか、周辺への影響、今住んでみえる上条の方たちへの影響、い
ろんなことがあると思いますので、その辺りは、広域的に検討を民間のほうにもやっていただく
ようには、企業誘致課が窓口になりますが、企業のほうにそういう話をしているということござ
います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

都市計画課としては、きちっとそういうアドバイスが先方まで届くように、企業誘致課とはや
り取りができていているという認識でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

当然企業のほうと、私は膝を突き合わせて話しておりますし、こういった話というのは、当
然うちからも言うんですけども、産業課とか土木課、関係する課とも連携しながら、企業さんや
地元さんには、お話はしております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。もう一個、一場東部のほうなんですけど、令和8年には市街化編入というお話で
したが、一場東部は確か電線もないですし、一場東部の辺りは、電気、ガス、水道はほぼ通って
ないですよ。これは、通してから編入するのか、編入してから通すのか、どっちなんでしょう
か。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

ライフラインについては、一部市の施設ですとか、一部住んでみえる方もみえたりするので、ある程度のライフラインきているものもあるんですけど、工事につきましては、当然市街化編入がされた後、組合が認可されて、事業が進んでいく後に工事をやっていくということで計画が進んでいくことになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

主に宅地を開発するという理解でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

まだ発起人会の中で検討はしておりますが、区域全体のうちのどの辺りを商業ゾーンにしていくとか、あるいは、住居系にしていくかと、そういうことも当然必要な公園とか調整池、そういったものの配置、そういったものが、どれが一番いいかということは今やってる段階なので、住居だけではなくて、一部そういった商業施設ということもあるかと思います。まだ未定でございますが。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

JRの清洲駅前を今ちょうどやっているところで、かなりいいお値段で土地が売れたりとかしてる話は聞いておりますけれども、名古屋駅まで7分という立地の駅をどう生かしていくかということの方針というか、理念というものを、やっぱり今右肩上がりの人口動態じゃないので、僕、委員会とかあると、必ず口酸っぱくなるまで何回も言っているんですけども、そういったことを踏まえて開発をしようと思うと、やっぱり駅前の開発とどういうふうにリンクさせていくとか、道路付けがどうなるとか、使う人にとって、多分あそこの一場の東部って、駅前立地にしたほうが絶対活用としては良くなると思うんです。区画整理事業組合が違うので、ここら辺の橋渡しとかは市がきっちりやっていただく、県道も入るんで、県もそうなんですけども、やっていただかなきゃいかんかなとは思いますが、こういったことは、どうやって考えてらっしゃいますか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

今議員がおっしゃるとおり J R 清洲駅前の区画整理が進んでおるところで、一方で少し五条川の東のほうに一場東部のほうで今計画が進んでおるところで、この連続性というのは当然考えていかなければいけないと思っておりますし、当然、一場東部の方が利用される駅というのは J R 清洲駅になりますので、ここのアクセスというのは決して分断されていけないと思っております。

したがいまして、J R 清洲駅前の区画整理のほうの話の中でも、その区域の東側に県道の一宮清須線があって、そこまでがちょっと少し事業区域と県道が離れている、ちょっと距離があるんですね、少し。その部分に関しましても、これ県道になるんですけど、東西線、駅前線ですね、都市計画道路の駅前線が当然、一宮清須線まで接続してきて、要は旧の 22 号の所が、一場東部と J R 清洲駅の区画整理のちょうど接点になるような形になるものですから、この辺りの交通アクセスというのは考えていかなきゃいけないということで、今県のほうにも働きかけをして、県のほうも J R 清洲駅前の区域外になりますが、東側の県道に到達する所までを今進めておりますので、これが当然計画が事業化されますと、一場東部が将来的に進んだときも、本当に組合は違えど一帯の地域として整備がなされると思っておりますので、その辺りは意識して、一場東部のほうも清洲駅前の区画整理も進めていかなければいけないという認識でおります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

しっかり連携を密にさせていただいて、意見が食い違うこともあるでしょうけども、長い目で遠い将来を見たときに、あそこを利用する方が便利で、名駅から 7 分という立地が最高に生かせるような形で、市役所が核になって、僕はやっていただきたいなという思い、これは要望としておきます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

あとこのページ、84、85ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

引き続き飛永です。

次、下のところの民間木造住宅耐震化促進費、主要施策は250ページになります。これ事業内容として、旧基準の木造住宅に対する診断をやって、リフォーム代を100万円出してというお話で、件数それぞれありますけれども、これも実は今回の能登の地震において、うちの国会議員と県議員が現地に入ったときの現地を見た、見てですね、一言言っていたのが、この人は県議員さんで、不動産会社の総務部長やっていた方なんですけど、現地に入りました、一言言ってらっしゃったのが、新耐震の木造住宅、実は倒壊しないんだそうです。全く倒壊がないと、新耐震が。なので、お父さんの家壊れちゃった、息子の建てた家は建っている。なので、お父さんはそっちに避難してるというのをよく見たというのと、あと旧耐震でも、耐震をしっかりとしてあるもの、診断をして、筋交いやったり、金具を取り替えたり、木造住宅のね、してあるものは、やっぱり倒壊してないそうです。あそこのちょっと、ごめんなさいね、被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げるしかないですしね、と思っています。で、反面客観的な部分の情報というのは、今後のことに生かしていかなければいけないところがあるのでお話ししますけども、何て言うんですかね、分かっているもなかなかやれていなかったそうです。耐震の補強工事というのが。業者さんも少ないですし、補助する制度があっても、あそこ実は結構頻繁に地震が起きてましたね、ここ数年間。それで何とかなっているからという部分があったのか、壊れてもなかなか業者さんが来てもらえないとあったのかもしれませんが、制度はあるんですけど、耐震の工事をなかなかやれていなかったというのが現実だそうです。

で、やれていることで、やっぱり今言ったように倒壊してないので、かなりその防災・減災力が上がるんですよ。それに清須市を照らしてみると、これもちょっと党派の中で話をして出た話なんですけども、特に清須市の中で、旧耐震であろうと思われる木造住宅が建っているエリアって、ぱっと思いつくところをみると、やっぱり美濃路沿いだったりするんですよ。今やっぱり代替わりがあって、結構そういった家が建て替えになっているのも結構あるんですけども、こういったところの調査といったら変ですけども、全体的な耐震率、住宅の耐震率がどうかということと、エリアごとの耐震率が出ているかどうかとか、かなりやっぱり筋交い入れるだけで全然違うので、今年はこういう災害でスタートしてしまったので、周知するには一番いい機会だ

と思うんですけれども。まず耐震化率のパーセント、市内全域、あとエリアごとに出るんであれば出してもらうといいんですけれども。あと今後のこの耐震のメニュー、まだありますね。今後も続けていっていただくと思うんですけれども、こういった周知方法とかを今までのものとどういう形に変えていくかとか、そういったことをちょっと御所見を伺いたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

今委員おっしゃった耐震化率というのですけれども、本市としては非常に低くて、2020年のときの耐震改修促進計画に記載されるのは67%とか、60%半ばということで、非常に愛知県の平均より低い状況になっております。

原因といたしますか、ある程度、何故本市の場合なかなか上がらないのかというところは、今実施しております都市計画基礎調査の中でも出てきておきまして、都市計画基礎調査におきまして、災害危険度とか建物、こういった利用状況、旧耐震の建物がどの地域にあるかということとかもドットのような形で地図に落としたりとかして、データも持っておるんです。そういったものである程度確認をしていきますと、委員おっしゃるとおり美濃路沿いですとか、未整理地域、まだ区画整理が行われてない所などが、如実にそういった危険度が高いという判定が出ております。

こういった所の解消ということが当然必要になりますので、今実施しております、まず耐震に関しては当然入口としては、耐震診断をやっていただくことが一番ですので、まずはこれをやっていただくことを最前線にして、役所の窓口に来ていただける業者さんとか住民の方などには、是非やってくださいと、無料ですからまずやってくださいと。そういうことをお願いをしておりますので、これは引き続きやっていきたいと思っております。

能登半島の地震があつてから私らも、本来であれば年末12月ぐらいまで、こういった国費・県費をいただいてやってる耐震診断とか耐震改修の補助事業というのは、年末ぐらいで一度区切らないと、ちょっと国費とか県費の請求というのが、手続上、年度内が間に合わなくなるので、その年末ぐらいにちょっと受付を閉めていたんですが、今年度に関しましては、できるだけ長い間受付をして、皆さんやはり関心が年明け高かったものですから、県のほうに相談して、本当にぎりぎりまで申し込み期間を、2月に入っても申し込みができるような状態でやっておりました。

1月に地震が起きた後に、広報ですね、最速で間に合うのが3月広報でしたので、そこでいつ

も以上に紙面を割いて、耐震診断を始めとした各種事業の案内をさせていただきました。そのおかげもあってか、年明けてから結構な問い合わせがありましたものですから、耐震に対して、今皆さんが関心のあるうちにお勧めして、私らも相談に乗って行って、1件でも解消できるようにしていかないかなと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

大変頼もしい御答弁でありがとうございます。びっくりしたのが、マップにちゃんと落としてあるというのがちょっとびっくりして。ちゃんとデータが取れてるというのは、すごいことだなと思いました。あと市民の財産と命を守るために、今も本来なら毎年締めていたものを、まだ進めていただいているということに関して、非常に頼もしい思いでいっぱいでございますので、この後もしっかり、やっぱり熱いうちに打てだと思うので、しっかりこの2月、3月も対応していただいて、進めていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

このページよろしいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

空家解体促進費補助金というところです。これをちょっと聞いておかなければいけないので、主要施策でいうと251ページです。

これは僕もちょっとこの間の委員会でも聞きましたかね、今年度から空き家の関連の法律が改正をされて、管理不全空家といったものもしっかり掌握をして、危険度を掌握して除去とかということになっていくと思うんですが、まずこの管理不全空家のカテゴリーに入ってしまうであろうというものは、現状の戸数とかエリアとかつかんでいらっしゃるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

管理不全空家につきましては、具体的に市内の空き家としまして今把握している空き家が19

2件ございますが、これが特定空家になるか、あるいは、管理不全空家になるかというのは、現場で見て、国のガイドラインに沿って判定をしないと分からないものですから、具体的な件数というのは把握はしておりません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

この192件というのは、大分以前にローラーをかけたときに掌握したものだと思うんですけども、これは定期的に、例えば3か月とか半年に1回ぐらいまで、現場に見に行ったりとかされているんですか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

この192件は今年度、全て、過去の平成28年か29年辺りに一度全体を見て、その後残っているものがまた今残っているかどうか、税務課の情報なども確認しながらやっているものと、あと実際に現地も50件ほどは職員が全部見に行って、実際に空き家になっているかどうかとかいうところの確認をして、基本的に一つブラッシュアップした形で、この件数が今上がっております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

空き家にしているのは空き家になっている理由があるでしょうし、建物が建っているのは、皆さん御存じのとおり、なくなってしまうと固定資産税が6倍になってしまうのでというのもあるでしょうし、様々な所有者の方の諸事情で、そうなっているということではあるとは思いますが、基本的には空いてるということは使っていないということなので、どうやって使うとかか利活用を促進とか推進とかということが一つ大事な方針になると思うんですね、対策をするには、空き家、空き地の利活用ですね。これは、空家特措法ができたころに、空き地なんかは防

災空き地にするとか、隣接している家屋に延焼しないようにそこを空けておくとか、そういったことのために市役所はどうするかという話もあったりしましたけれども、基本的には、空き家、空き地というのは、利活用が見えれば空き家じゃなくなるということになりますので。じゃあ、空き家の利活用ということを考えると、商業目的なのか、住まい目的なのかということがあると思うのですが、こういったことというのは、何かどこかでテーブルに乗せて議論をしたりとか、ワークショップみたいな形でやったりとか、方針を立てて、空家審議会でこうしようという話になったりとかという利活用に関してですね。そういったことは、どのような進め方をされているのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

空き家の利活用については、空家の協議会でこの話をするという事はしておりませんし、特段このワークショップを行っておるといことはしていないんですが、管理ができていないとか、草場になってきて、ちょっと近所から苦情をいただいているとか、そういった空き家とかが出てきている場合は、当然その方にこちらから連絡を取って、話を個々にしておるような形でございます。

その中で、市のほうも空き家に関する協定を結んでいるような土地家屋調査士会さんですとか県の宅建業協会さんとかとも結んでいるものですから、そういったところの相談はどうですかということで、チラシもあるものですから、土地の、建物の所有者さんのほうに、そういったものをお渡しするなり御案内をして、専門的な御相談をしてみたらどうですかというようなことはやっておりますし、それ以外でお話しできることは、市のほうも相談に乗るといのか一般的な話は結構個々にしておりますので、そういった個々の対応で、やっておるというような状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

細かい対応になると思いますけども、これは対策をしておかないと、空き家対策をしなかったまちができ上がってしまうので、想像してみてください。空き家対策をしなかったまちって、そうするだけでちょっと背中が寒くなりそうなんですけど、防犯上もよくないですし、災害、減災防

災の角度から見てもよろしくないのでは、地道かと思えますけども、しっかり進めていただければと思えますので、よろしく願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

84、85ページ、いいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

すみません、たびたび。次の民間ブロック塀のところなんですが、主要施策252ページになります。これ皆さん御存じの民間ブロック塀の撤去に関しては、関西で地震が起きたときに、小学生の女の子が通学路にあったブロック塀で亡くなったということをきっかけにして、こういったものができておりますけれども、確か清須市においては、通学路沿いのものは確か撤去完了しましたよという、これ、あれですかね、私の何か、通学路沿いのブロック塀の現状はどうなんでしょう。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

通学路に関しましては、毎年度若干変わっていくところも当然ございますので、また新たにその所でブロック塀が、新たに危険なブロック塀の所が強くなるということもあり得ると思います。ちょっと通学路沿いにある全てのブロック塀、危険なブロック塀が撤去されたというちょっと認識はなくてですね、すみません。本年度におきましても、1件、春日のほうで通学路沿いの所のブロック塀を1件撤去している実績もございますので、まだそういった所もあるかと意識しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

あとですね、通学路の所は、できたら早く御協力いただいて進めていただけたらと思うんですが、通学路以外の所で、3番の事業効果の所にも表現してありますけれども、災害時の被害の

軽減や避難路の確保においては、やっぱり狭小な道路にある危険なブロック塀やなんかは、できるだけ撤去するか、補強するのか、何かほかのものに変えるのかがいいと思うんですね。僕の家
の近所でも、ブロック塀を、人の大体背丈ぐらいまで積んであったものを半分にして、その半分
は格子っていいですかね、に変えられたりとかされておられたりするんですけども、こういった
指導とかは、結構これも地味な作業になると思うんですが、こういった指導とか、現在例えばそ
れに取りかかっているとか、こういったことを御協力くださいという周知とかというのは、現状
どんな御認識なんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

市で啓発としましては、広報紙による啓発というのを3月とかに掲載をさせていただいておっ
たり、県のほう、愛知県のほうと一緒にですね、パトロールも年間のうちはちょっと不定期です
けど、実施もしておりますので、本市としましては、具体的にどこのどのブロック塀がかなり危
ないというのはつかんでおるものですから、何とかそこを優先的にやりたいという思いもありま
して、その方の家にも直接訪問してですね、ちょっとまた来ましたという感じにはなるんですけ
ども、何とかブロック塀、ちょっと対応をしていただだけませんか。あるいは、なかなかやって
いただけんところには、貼り紙でもいいので、まず貼ってくださいとか、ちょっと近づかないでく
ださいとか、何か対応ができないかということは、個々、個別には、担当から県の職員の方の同
行も得ながらやっております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

地道でありますけど、備えあればですので、また引き続きよろしく願いいたします。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

このページよかったですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

では、次に移ります。

86、87ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

最後に、88、89ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

これで質疑を終了させていただきます。

次に、議案第5号 令和6年度清須市水道事業会計予算案について御説明をお願いいたします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課の伊藤でございます。

議案第5号 令和6年度清須市水道事業会計予算案について御説明いたします。

タブレットmoreNOTEの設定は1画面表示のまま、令和6年度水道事業会計下水道事業会計予算書及び説明書の18、19ページを御覧ください。

はじめに、収益的収入。6年度の実施計画明細書の中の収益的収入でございます。

1款水道事業収益、1項営業収益、1目給水収益、当年度予定額1億9,085万1,000円、1節給水収益で、水道料金でございます。

2目受託工事収益、当年度予定額1,956万6,000円、1節給水装置工事受託収益で、給水装置工事に伴う引込管の受託工事収益でございます。

3目その他営業収益、当年度予定額304万9,000円、1節手数料と2節他会計負担金で、主なものは、下水道使用料徴収事務の負担金でございます。

2項営業外収益、1目受取利息及び配当金、当年度予定額1,000円、1節預金利息でございます。

2目他会計負担金、当年度予定額12万円、1節一般会計負担金で、児童手当負担金でございます。

3目長期前受金戻入、当年度予定額2,473万2,000円、1節長期前受金戻入でございます。

4目消費税及び地方消費税還付金、当年度予定額1,000円、1節消費税及び地方消費税還付金でございます。

5目雑収益、当年度予定額1,000円、1節その他雑収益でございます。

3項特別利益、1目過年度損益修正益、当年度予定額1,000円、1節過年度損益修正益、水道料金過年度分調定額でございます。

次に、収益的支出でございます。

1款水道事業費用、1項営業費用、1目原水及び浄水費、当年度予定額7,624万4,000円、1節備消耗品費から5節受水費までで、主なものは、県水の受水費でございます。

2目配水及び給水費、当年度予定額3,657万3,000円、1節備消耗品費から9節材料費までで、主なものは、配水場の維持管理費でございます。

3目受託工事費、当年度予定額1,778万7,000円、1節工事請負費で、給水管引込工事でございます。

4目業務費、当年度予定額1,063万3,000円、1節燃料費から、20、21ページを御覧ください。9節貸倒引当金繰入額までで、主なものは、料金徴収事務費でございます。

5目総係費、当年度予定額1,975万3,000円、1節給料から17節保険料までで、主なものは、職員人件費でございます。

6目減価償却費、当年度予定額6,882万6,000円、1節有形固定資産減価償却費と2節無形固定資産減価償却費でございます。

7目資産減耗費、当年度予定額100万円、1節固定資産除却費でございます。

8目その他営業費用、当年度予定額1,000円、1節材料売却原価でございます。

2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費、当年度予定額92万2,000円、1節企業債利息と2節リース支払利息でございます。

2目消費税及び地方消費税、当年度予定額500万円、1節消費税及び地方消費税でございます。

3目雑支出、当年度予定額1,000円、1節その他雑支出でございます。

3項特別損失、1目過年度損益修正損、当年度予定額30万円、1節過年度損益修正損でございます。

4項予備費、1目予備費、当年度予定額100万円、1節予備費でございます。

次に、22、23ページを御覧ください。

資本的収入でございます。

1 款資本的収入、1 項他会計出資金、1 目他会計出資金、当年度予定額 3, 0 0 0 万円、1 節一般会計出資金でございます。

2 項県補助金、1 目県補助金、当年度予定額 5 3 0 万円、1 節県補助金で、生活基盤施設耐震化等補助金でございます。

3 項工事負担金、1 目工事負担金、当年度予定額 4, 3 1 9 万 7, 0 0 0 円、1 節施設負担金と 2 節工事負担金で、主なものは、配水管等工事負担金でございます。

次に、資本的支出でございます。

1 款資本的支出、1 項水道施設費、1 目配水設備工事費、当年度予定額 9, 4 6 2 万 1, 0 0 0 円、1 節給料から 6 節メーター費までで、主なものは、配水場整備費、給配水管整備費でございます。

2 目固定資産購入費、当年度予定額 6 4 7 万 2, 0 0 0 円、1 節リース債務支払額と 2 節有形固定資産購入費で、主なものは、リース債務の支払額でございます。

2 項企業債償還金、1 目企業債償還金、当年度予定額 1, 6 5 8 万 7, 0 0 0 円、1 節企業債償還金でございます。

3 項その他資本的支出、1 目その他資本的支出、当年度予定額 2 4 万 6, 0 0 0 円、1 節その他資本的支出で、県補助金返還金でございます。

次に戻っていただきまして、1 0、1 1 ページを御覧ください。

令和 6 年度清須市水道事業予定貸借対照表について説明いたします。

左側になります。資産の部。

1、固定資産、(1) 有形固定資産合計 1 8 億 6, 6 7 0 万 1, 0 0 0 円、イ、土地からトの建設仮勘定まででございます。

(2) 無形固定資産合計 2, 5 9 7 万 2, 0 0 0 円、イ、電話加入権からハ、リース資産まででございます。

固定資産の合計は 1 8 億 9, 2 6 7 万 3, 0 0 0 円となります。

2、流動資産、(1) 現金預金、(2) 未収金、(3) 貯蔵品と合わせた 1 億 1, 0 6 7 万 6, 0 0 0 円が、流動資産の合計となります。

1 の固定資産合計と 2 の流動資産合計を合わせた 2 0 億 3 3 4 万 9, 0 0 0 円が、資産合計となります。

右のページになります。負債の部。

3、固定負債、固定負債合計1,086万6,000円、(1)リース債務でございます。

4、流動負債、流動負債合計3,917万3,000円、(1)企業債から(5)引当金まででございます。

5、繰延収益、繰延収益合計7億2,881万1,000円、長期前受金から収益化累計額を差し引いたものでございます。

3、固定負債合計、4、流動負債合計、5、繰延収益合計を合わせた7億7,885万円が、負債合計となります。

その下、資本の部でございます。

6、資本金10億6,291万3,000円。

7、剰余金、(1)資本剰余金9,840万4,000円、イ、他会計補助金でございます。

(2)利益剰余金6,318万2,000円、イ、当年度未処分利益剰余金でございます。

(1)資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせた1億6,158万6,000円が、剰余金合計となります。

6の資本金と7の剰余金を合わせた12億2,449万9,000円が資本合計となり、負債合計と資本合計を合わせた20億334万9,000円が負債資本合計となります。

説明は、以上でございます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長(野々部 享君)

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。

飛永委員。

飛永 勝次委員

たびたびすみません。飛永ですけれども、資本的収入支出のところについて教えてください。

まず、収入と支出の差が3,000万円ほどあるんですけれども、支出のほうが多い状態になっていますが、これはどういうふうに理解をしたらよろしいのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長(野々部 享君)

伊藤上下水道課長。

上下水道課長(伊藤 嘉規君)

上下水道課、伊藤でございます。

資本的収入及び支出の予定額の中で、資本的支出が上回る額につきましては、毎年度過年度分損益留保資金などで補填している状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。となると、何ページだったかな、戻ると、12ページのところに損益計算書があって、一番下に当年度未処分利益剰余金が6,400万円あって、これも前年度だと4,100万円からまた2,700万円剰余金がプラスになっているというのは、これはどんな理由でこうなっているのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

利益が上がった分が、剰余金としていつも挙げている状況になります。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

この収益的収入と支出は常に結構優秀でバランスがよくてとなっているという認識で、資本的収入と支出のほうは支出がちょっと上回ってるというのは、多分いろんな機器設備の更新時期が来ていて、お金がかかってしまうのじゃないのという感じと、もう一個は今回、同僚議員が一般質問がありましたが、耐震化工事のことを進めなきゃいけないということで、いわゆる固定資産に対するメンテナンス費用が、これからどんどんかかっちゃうんじゃないのかなという認識なんですけれども、そういったお金の遣り繰りをしながら、防災、減災力を強くしていかなきゃいけないというふうに見てるんですが、御所見をいただけたらと思いますけれども。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

当然、資本的支出で賄っております耐震管工事とか配水場の設備に関しましては、必要でありますので、進めていかなければいけないと思っておりますので、その中でも当然資本金、失礼い

たしました、資金、現金が毎年目減りしている状況でございまして、6年度予算につきましても一般会計から3,000万円の出資金をいただいております、それによって現金の低下を防いでいる状況でございます。

今後につきましては、12月、失礼いたしました。先ほど、3月ですか、一般質問でもお答えしたんですけれども、7年度に企業債が償還が終わります。その企業債の償還分を当然設備費用に充てることも可能でございますし、その後借金がなくなりますので、当然耐震化工事、配水場の設備、どんどん進めていかないといかんと思いますので、新たな企業債の借り入れも含めまして、整備を進めていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今おっしゃられた事業推進の方向性ってすごく合理的で、よく分かる話なんですけれども、こういった計画なんかは、どっかに出してるのかそういったことではないのですか。どこかのテーブルに出して、こうやってやりますよと出しているとかいうのは、やっていらっやらない。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

計画的には出ておりません。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

すごく聞いていて安心する話だったんで、市民にお伝えしたらどうかなと思うんですけど、まだそこまで言っちゃうのは、あれかな、見込みの部分がまだ違うこともあるかもしれないのでということで、控えていらっやるんですか。そういったことは。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

見込みがかなりありますので、今の段階では控えている状況でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

去年でしたっけ、1億、出資金、一昨年だったかな、1億円の出資金が入って進めたり、今回3,000万円が入ってということですけども、耐震化もさることながら、元々の給配水の設備ですよ。1億円いただいた年に、その設備が故障してしまって、そっちにお金がかかったという話もあったんですけども。こういったものの設備関係ってというのは、今、耐用年数どれだけのものをどれだけ使っているとか、いわゆる再投資をするに当たって、更新をね、それそのものに幾らまでなら出せるとかっていう計算というものは、何か持っていらっしゃるんですか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

配水場設備につきましては、毎年、保守点検をやっておりますので、保守点検業者より調子が悪いところは毎年いただいております、それに基づいて整備状況を考えて、お金もありますので、整備していくことになるんですけども、春日地区の水道につきましては、行く行くは名古屋市への移管を大前提で進めておりますので、名古屋市へ移管する時期等につきましては、現在、愛知県さんとか名古屋市さんとかとも当然協議しております、木曽川、国のフルプラン木曽川水系の改定を待つて進めていく状況でありますので、そういった情報を収集しながら、いつごろ名古屋市に移管できるかというのもありますので、そういったことを全て含めた中で、整備のほうを考えていくということで、今進めております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

いわゆる、発生主義で直すよりも、予防保全的な角度でいったほうが、今度受けていただける方も受けやすいと思うんですけども、是非考えていただく、答弁はいいですので、そういった方向で進めていただいたほうがいいのかと思っておりますので、上手に遣り繰りできそうなお話も聞けましたので、是非実現していただけるようによろしくお願いいたします。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

あとよかったですでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

これで質疑を終了し、議案第5号 令和6年度清須市水道事業会計予算案についての採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第5号 令和6年度清須市水道事業会計予算案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

ここで、10時55分まで休憩とさせていただきます。

（ 時に午前10時43分 休憩 ）

（ 時に午前10時55分 再開 ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、議案第6号 令和6年度清須市下水道事業会計予算案について御説明をお願いいたします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課、伊藤でございます。

議案第6号 令和6年度清須市下水道事業会計予算案について御説明いたします。

引き続き令和6年度水道事業会計下水道事業会計予算書及び説明書の44、45ページを御覧ください。

令和6年度清須市下水道事業会計予算実施計画明細書でございます。

はじめに、収益的収入でございます。

1款下水道事業収益、1項営業収益、1目下水道使用料、当年度予定額2億4,517万6,

000円、1節下水道使用料でございます。

2目雨水処理負担金、当年度予定額4億9,175万1,000円、1節雨水処理負担金で、主なものは、雨水維持費負担金でございます。

3目受託事業収益、当年度予定額112万4,000円、1節都市下水路維持管理収益でございます。

4目その他営業収益、当年度予定額514万6,000円、1節手数料から3節雑収益で、主なものは、指定工事店指定等手数料でございます。

2項営業外収益、1目受取利息及び配当金、当年度予定額1,000円、1節預金利息でございます。

2目他会計負担金、当年度予定額3億4,113万9,000円、1節一般会計負担金で、主なものは、分流式下水道経費負担金でございます。

3目補助金、当年度予定額100万円、1節下水道事業費補助金で、社会資本整備総合交付金でございます。

4目長期前受金戻入、当年度予定額5億2,861万円、1節長期前受金戻入でございます。

5目消費税及び地方消費税還付金、当年度予定額7,016万6,000円、1節消費税及び地方消費税還付金でございます。

6目雑収益、当年度予定額5,000円、1節延滞金と、2節その他雑収益で、主なものは、消費税及び地方消費税還付加算金でございます。

3項特別利益、1目固定資産売却益、当年度予定額1,000円、1節固定資産売却益でございます。

2目過年度損益修正益、当年度予定額1,000円、1節過年度損益修正益で、下水道使用料過年度調定分でございます。

3目その他特別利益、当年度予定額1,038万3,000円、1節その他特別利益で、元金償還繰入金過年度未収益分収益でございます。

次に収益的支出でございます。

1款下水道事業費用、1項営業費用、1目管渠費、当年度予定額1,529万8,000円、1節備消耗品費から46、47ページを御覧ください。9節負担金までで、汚水管渠維持管理費、雨水管渠維持管理費でございます。

2目ポンプ場費、当年度予定額1億5,065万円、1節備消耗品費から7節動力費までで、

雨水ポンプ場の維持管理費でございます。

3目受託事業費、当年度予定額112万4,000円、1節委託料で、都市下水道管理受託でございます。

4目普及指導費、当年度予定額183万1,000円、1節補助金で、宅地内汚水ポンプ設備設置費補助金等でございます。

5目業務費、当年度予定額2,338万3,000円、1節報償費から8節雑費までで、主なものは、下水道使用料徴収事務費でございます。

6目総係費、当年度予定額5,975万8,000円、1節給料から19節広告宣伝費までで、主なものは、職員人件費でございます。

7目流域下水道維持管理負担金、当年度予定額2億2,871万4,000円、1節負担金で、流域下水道維持管理負担金でございます。

8目減価償却費、当年度予定額9億6,044万6,000円、1節有形固定資産減価償却費と2節無形固定資産減価償却費でございます。

48、49ページを御覧ください。

9目資産減耗費、当年度予定額500万円、1節固定資産除却費でございます。

10目その他営業費用、当年度予定額1,000円、1節雑損失でございます。

2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費、当年度予定額1億7,012万9,000円、1節企業債利息と2節その他支払利息で、主なものは、公共下水道事業債利息でございます。

2目消費税及び地方消費税、当年度予定額1,000円、1節消費税及び地方消費税でございます。

3目雑支出、当年度予定額1,000円、1節その他雑支出でございます。

3項特別損失、1目固定資産売却損、当年度予定額1,000円、1節固定資産売却損でございます。

2目過年度損益修正損、当年度予定額30万円、1節過年度損益修正損でございます。

4項予備費、1目予備費、当年度予定額100万円、1節予備費でございます。

次に、資本的収入でございます。

1款資本的収入、1項企業債、1目企業債、当年度予定額9億7,280万円、1節公共下水道事業債と2節流域下水道事業債でございます。

2 項他会計出資金、1 目他会計出資金、当年度予定額 2 億 1, 8 6 6 万 9, 0 0 0 円、1 節一般会計出資金で、汚水整備出資金と雨水整備出資金でございます。

3 項他会計補助金、1 目他会計補助金、当年度予定額 6, 4 3 2 万円、1 節一般会計補助金で、主なものは、流域下水道臨時措置元金補助金でございます。

4 項国庫補助金、1 目国庫補助金、当年度予定額 8 億 2 2 0 万円、1 節下水道事業費補助金で、社会資本整備総合交付金でございます。

5 項工事負担金、1 目工事負担金、当年度予定額 2, 8 4 0 万 6, 0 0 0 円、1 節下水道事業受益者負担金から 3 節一般工事負担金まででございます。

6 項固定資産売却代金、1 目固定資産売却代金、当年度予定額 1, 0 0 0 円、1 節固定資産売却代金でございます。

次に資本的支出でございます。

1 款資本的支出、1 項下水道施設費、1 目管渠建設改良費、当年度予定額 9 億 7, 4 2 0 万 8, 0 0 0 円、1 節委託料から、5 0、5 1 ページを御覧ください。

5 節調査費までで、汚水管渠整備費と雨水管渠整備費でございます。

2 目ポンプ場建設改良費、当年度予定額 8 億 7, 2 0 0 万円、1 節委託料で、雨水ポンプ場整備費でございます。

3 目建設総係費、当年度予定額 2, 4 7 1 万 6, 0 0 0 円、1 節給料から 5 節委託料までで、主なものは、職員人件費でございます。

4 目固定資産購入費、当年度予定額 6 0 万円、1 節有形固定資産購入費でございます。

5 目流域下水道建設負担金、当年度予定額 8, 6 7 2 万円、1 節負担金で、流域下水道建設負担金でございます。

2 項企業債償還金、1 目企業債償還金、当年度予定額 6 億 5, 0 8 2 万 6, 0 0 0 円、1 節企業債償還金でございます。

3 項その他資本的支出、1 目その他資本的支出、当年度予定額 1, 6 4 8 万 7, 0 0 0 円、1 節その他資本的支出で、小場塚幹線整備事業立替金償還金で、償還費でございます。

次に戻っていただきまして、3 6、3 7 ページを御覧ください。

令和 6 年度清須市下水道事業予定貸借対照表について説明いたします。

資産の部。

1、固定資産、(1) 有形固定資産合計 3 0 0 億 2, 7 7 1 万 8, 0 0 0 円、イの土地からへ

の建設仮勘定まででございます。

(2) 無形固定資産合計23億2,783万5,000円、イの施設利用権からハのソフトウェアまででございます

(3) 投資その他資産合計54万4,000円、イの出資金とロの長期前払費用でございます。固定資産合計は、323億5,609万7,000円となります。

2、流動資産、(1)の現金預金、(2)の未収金、(3)の、前払費用を合わせた15億1,774万9,000円が、流動資産の合計となります。

1の固定資産合計と2の流動資産合計を合わせた338億7,384万6,000円が、資産合計となります。

右のページを御覧ください。負債の部です。

3、固定負債、固定負債合計145億8,051万5,000円、(1)企業債と(2)その他固定負債でございます。

4、流動負債、流動負債合計16億7,389万円、(1)企業債から(4)その他流動負債まででございます。

5、繰延収益、繰延収益合計151億4,399万6,000円、長期前受金から収益化累計額を差し引いたものでございます。

3、固定負債合計、4、流動負債合計、5、繰延収益合計を合わせた313億9,840万1,000円が、負債合計となります。

その下は、資本の部でございます。

6、資本金16億8,273万6,000円。

7、剰余金、(1)資本剰余金合計10億3,413万2,000円、イの受贈財産評価額、ロ、他会計補助金、ハ、国庫補助金でございます。

(2)利益剰余金合計マイナス2億4,142万3,000円、イの当年度未処理欠損金でございます。

(1)の資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせた7億9,270万9,000円が、剰余金合計となります。

6、資本金と7、剰余金を合わせた24億7,544万5,000円が資本合計となり、負債合計と資本合計を合わせた338億7,384万6,000円が、負債資本合計となります。

説明は、以上でございます。御審議のほど、よろしく願いたします。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございました。それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。

飛永委員。

飛永 勝次委員

何点かよろしく願いいたします。最初に御説明いただいた46、47ページのところの流域下水道維持管理負担金というのが、どういったもので、負担金なんだろうから県に払っているのかと思うんですけども、違いますか。ちょっと教えてください。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

汚水処理場へ流れておりますので、最後の浄化センターですね、浄化処理するところは県が運営しておりますので、愛知県さんの流域下水道に対する維持管理費に対する負担金になります。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これが、前年度と今年度と500万円ぐらい増えているんです。570万円増えているのは、これは何故増えているのか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

当然、下水道整備しておりますので、汚水を流す量が増えてきておりますので、維持管理費も当然それに伴って増えてきてる状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。ちょっと次飛びまして、50ページ、51ページの資本的支出のところにも、

これは資本的支出なんで、別な性格のお金なんでしようけど、流域下水道建設負担金、これも県に払っているものですかね。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりです。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

こちらは2, 200万円減っているんですけど、これって動くものなんですか、負担金というのは。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

あくまで愛知県さんが実施した建設費に伴って発生するものでございますので、当然、上下するものでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ありがとうございます。いいですか、続けて。

次に38ページの損益計算書なんですけど、じっと見ていて、物凄く理解するのに苦しんだんですけど、これは最終的に、一番下のところに、前年度繰越欠損金と当年度未処理欠損金ってあるんですねこれ2億4,900万円で、ごめんなさい、その上に当益純利益ありますね、当年度の278万円。その下が前年度の欠損金で2億4,900万円、その下が未処理欠損金で2億4,635万円というのは、赤字が出ているよという表現でいいんですか、ここは。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

当然、下水道を整備するに当たりまして、最初は投資していかないといけないものですから、まずは下水道管渠とかの整備を進めていって、その後接続していただいて初めて料金が発生しますので、当然最初は赤字になっておりまして、毎年下水道使用料等で利益が出た場合は、その欠損金が減っていくという状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今年度の実績としては、赤字が270万円減らせる営業状況でしたという理解でよろしいんですね。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりでございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これから減っていくということね、分かりました。

続けていいですか。すみません。あと貸借対照表のところでちょっと教えてほしいんですけど、負債の部の固定負債と流動負債のところで、企業債なんですけど、この事業中期経営戦略、これ僕は、12月の一般質問でこれを基にいろいろ質問させてもらったんですが、この中に、企業債は最大150億、最大150億ですよという表現があって、これ昨年度が、40、41ページのほうの令和6年3月31日の日付が入ってるものは、固定負債の企業債と流動性の企業債を合わせると150億をちょっと切るぐらいなんです。

前のページに戻って36、37で、令和7年3月31日、いわゆる6年度末になると、145億6,400万と、あと流動のほうで6億9,000万、ほぼ7億で、これは150億超えていくというふうになるんですけども、用途が150億という話なので、超えちゃいかんという話じゃないんですけど、どんなふうな戦略で、当然、また資本的支出がどんどんあるので、敷設をしていくので、増えていくものだと思うんですけども、どんなふうに見込んでらっしゃるのかだけ、

ちょっとお聞かせいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

企業債につきましては、当然事業を進めていく上で必要になりますので、来年度以降、事業をどれだけ進めるかによって、これも増減が出てきておりますので、当然、物価高騰等もありますので、整備状況を有益なところといいますか、投資効果になるところを進めていく上で考えていきたいと思っております。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

順番に、元々の計画に沿ってという形になるのか、今おっしゃられたみたいに、この事業をスタートした当初からすると、物価の高騰があったりとか、人口動態が変わったりとか、空き家が増えたりとかしてくると投資した分が回収できるのかできないのかとか。できないはないと思うんですけども、回収効率が悪くなるのかとか、悪くなった分、どこでその全体事業を維持するために何をするのかという話、当然こういうことを検討されると思うんですが、これ実は、これは一般質問でもお話ししたんですが、令和元年から20年という話になっているので、これはそろそろ1回作り直したらどうですかという話を僕、させてもらったと思うんですけども、これは何かされるんではたっけ。どうぞ。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

現在、見直し作業を行っております、来年度、6年度には、一旦見直しをするような形で計画しております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

物価高騰とか、人口動態の変化とか、この後もやりますけど、容積率を上げてね、たくさん世

帯を確保できる分譲マンションができるとか、なってくると、また事業趣旨が変わってくると思うんですけども、もちろん敷設もしなきゃいけない投資が先行で要るとかね、なんですけども、やっぱり清須市は、今いろんな角度で合併以来のまちづくりがすごく活発に進んでいると思うので、下水道事業も今言われたように、今年度の見直しの中で、今ある要素と今後の見込みみたいなものが、リアルタイムで盛り込めるようなものを作っていて、市民に見える形で安心していただける形でやっていただければと、これ一つ要望しておくのが一つと、あともう一つ、この中期の計画書の中に、下水道使用料の見直しを検討するという表現、実は書いてあるんですね。これは令和7年になってるんですよ。そのことに関しても今再作成しようとしている計画書の中にも、またそういう話も当然出てくると思うんですけども、これはどうなんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

当然料金収入についても、今後の整備に合わせて、こういった形で動いていけばいいというのは検討を進めていくことが必要だと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

全体の計画と経営戦略がこうだから、毎年の貸借対照表がこれで、そのときの数字がえっという数字であっても、これは将来の目論見的にこうなってるからこうなんですという説明ができれば、全然いいと思うんです。なんですけど、やっぱり人口動態の変化とか、この間もちょっと久しぶりに車で市内をぐるっと回ってみたところ、今まで空き家じゃなかったところが空き家になっちゃってたりとか、それも町ですよ。いわゆる元々市街地だった所で、そうなっているということは、当時、市街地だったから下水道を敷設して、接続を見込んだ所で接続したんだけど、そこに住んでいないとか、そういうことが起きているのかなと。それが経営の実態に、その赤字が今年度は減ったからいいですよ。減ってますけど、こういった部分にどんな影響を及ぼすかということは、どこかで当然お話しされているとは思いますが、どんなふうな御所見をお持ちかだけちょっとお聞かせいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

今後整備を進めていく上で、当然、接続率等を含めた形で普及率を上げていかないといけないものですから、当然料金いただく関係上、そういった形で投資効果が高いところを狙うとか、接続をしていただけるように、住民の皆さんにはPRを努めて、下水道使用料の増額に努めていきたいと思います。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

市内の実はある所で、下水道管が敷設されて共用開始されたんだけど、敷地内の工事が、非常にこのコストがかかってできないという話が実はあったんですね。何でかなと見に、調べてみたら、そもそも論、何だったかな、生活雑排水と合併浄化槽の別々に出してらっしゃったんですね。そうすると生活雑排水を敷地内でつなげるお金がないですという話になると、そこはつなげないですね、下水道に。それを何とかせいという話じゃないんですけども、そういう状況のところも実はちょっとあって、私もびっくりして、御自身でつなぐんであれば、敷地内の工事などで、御自身でローン組んでやってもらうしかないという話になっちゃうんでしょうけど、そうですね。どうなんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

市としては、最後のところまでは道路部分から費用を出してやりますけれども、そこから宅内については、本人さん負担になりますけれども、融資の斡旋とか、そういった補助もございまして、そういったのを利用していただきながら、できれば早めに下水道につないでいただけるよう、そういった補助もあるということもPRしていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

早めにつないで、早めに使用料いただいけるような環境づくりって大事でしょうけど、元々その建っていたお家が、それは当時、その自治体、当時の合併前の自治体ですよ、指導をちゃんと聞かずにやってしまったのか、ちょっと分からない部分あるんですけども、何か上手に御指導していただけるといいかなという部分があります。そういったものがポロポロと出てくると、すぐつなげます、つなげませんというところにも時間かかったりとかしますので、丁寧な説明を市民にさせていただきたいということと、最後にもう一個だけ、これ僕、一般質問の時にもお話ししましたけども、この使用料を変えなきゃいけない、下水道使用料をね、変えなきゃいけない物価高騰によって、建築費が上がる、起債額も増やさなきゃいけない、こういったちょうど今、見直しはいい時期だと思うので、是非しっかり6年度でやってほしいと思うんですけども、それに加えて、他の自治体は、人口動態の変化が一番のリスクだということで、経営審議会を立ち上げて、そこで、こういった予算審議とか今後の方針とか、そこで全部やってるようなので、もちろん専門の有識者も入っていただいてやってるようですので、今後の戦略としては、非常にシビアな難しい人口動態の中で進めなきゃいけないので、是非審議会の立ち上げを要望して、この質問をさせてもらいます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

質疑、ほかの方よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

これで質疑を終了させていただきます。

議案第6号 令和6年度清須市下水道事業会計予算案についての採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

全員賛成でございます。

よって、議案第6号 令和6年度清須市下水道事業会計予算案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第26号 清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案について説明をお願いいたします。

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課長の鈴木です。それではタブレットのmoreNOTEの設定を2画面表示にしていただき、令和6年3月清須市議会定例会市長提出議案等の77ページと令和6年3月清須市議会定例会市長提出議案等説明資料の31ページを御覧ください。

議案第26号 清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和6年2月22日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、枇杷島駅東地区計画区域内における低未利用地を活用した生活サービス施設の誘導による都市拠点の形成及び商業地区にふさわしい土地の利用を図るため実施する用途地域の変更に伴い、建築を制限する建築物の追加等を行うため必要があるからです。

市長提出議案等の78ページを御覧ください。

清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案

清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を次のように改正する。

内容については、説明資料31ページにより御説明いたします。

JR枇杷島駅周辺を本市の拠点と位置付けた都市計画マスタープランに基づき、駅前にふさわしい生活サービス施設等の誘致を図るため、枇杷島駅東地区計画区域内の用途地域を近隣商業地域から商業地域へ変更します。用途地域が変更されると、建築可能となる建築物の種類や規模が増えますが、本市の顔となる駅前の拠点としてそぐわないと考えられるナイトクラブやキャバレーなどの建築物については、建築を制限する建築物として、第4条の項目に追加します。

なお、第5条として、条例により建築制限に抵触する既存の建築物については、一定の範囲内であれば、増改築等ができるよう制限を緩和します。

施行期日は、令和6年4月1日です。

説明は、以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございました。それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

1点だけちょっと確認で。近隣商業が商業になると、建てられる建物が幅が増えて、ちょっと駅前にそぐわないものは、市の方で規制をかけるというところはよく分かるんですけども、これ駅の東側ですね、警察署のあるほうの所ですね、県道の所までぐらいかな、なんですけども、これは商業が変わると、日影規制がなくなっちゃうんですけど、いわゆる日照権が主張できないエリアになっちゃうんですよね、商業になると。ここら辺のことは、何でしょう、現状の御説明で、確かちゃんとしたってという話、どっかで報告を受けましたよね、これね、こうなりますよということで。でしたよね。確認です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

日影規制につきましては、枇杷島の東の地区に隣接する養和町という地区もあるんですけども、こういった所も北側になるものですから、日影が落ちます。これに関しては、日影規制がかかるものですから。なので、元々近隣商業地域のときから規制がかかっておりまして、それが商業に変わっても、養和地区に対しての日影というのは守られるというか、対応はしなければなりませんので、10mを超える部分については、制限がかかってくるということでございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ほかによろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ないようですので、これで質疑を終了し、議案第26号 清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地

区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案について採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第26号 清須市名古屋都市計画枇杷島駅東地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第27号 清須市水道事業給水条例及び清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案について説明をお願いいたします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課、伊藤でございます。

議案第27号について御説明いたします。

引き続き市長提出議案等の81ページと市長提出議案等説明資料の32ページを御覧ください。

議案第27号 清須市水道事業給水条例及び清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和6年2月22日提出

清須市長 永田純夫

提案理由でございます。この案を提出するのは、水道法の一部改正による事務の移管に伴い、規定を整理する必要があるからです。

市長提出議案等の82ページを御覧ください。

清須市水道事業給水条例及び清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案

清須市水道事業給水条例及び清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに

水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

改正内容につきましては、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律により、水道法の一部改正があり、これまで厚生労働省が所管していた水道整備及び管理行政に係る事務のうち、水質又は衛生に関する事務が環境省に、水道整備管理等に関する事務が国土交通省に移管されることになったため、規定を整理するものでございます。

第1条は、清須市水道事業給水条例の一部改正になります。

条例第6条、第36条及び第42条において、厚生労働省令を国土交通省令に改めるものでございます。

第2条は、清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正になります。

条例第4条において、厚生労働大臣を国土交通大臣又は環境大臣に改めるものでございます。附則でございます。

この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

説明は、以上でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手をお願いいたします。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

これで質疑を終了し、議案第27号 清須市水道事業給水条例及び清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案について採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございました。

全員賛成でございます。

よって、議案第27号 清須市水道事業給水条例及び清須市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案につい

ては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第28号 清須市監査委員条例等の一部を改正する条例案の建設文教常任委員会所管分について説明をお願いいたします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課の伊藤でございます。

議案第28号について御説明いたします。

引き続き市長提出議案等の83ページ、市長提出議案等説明資料の33ページを御覧ください。

議案第28号 清須市監査委員条例等の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和6年2月22日提出

清須市長 永田純夫

提案理由でございます。この案を提出するのは、地方自治法の一部改正に伴い、規定を整理する必要があるからでございます。

市長提出議案の84ページを御覧ください。

清須市監査委員条例等の一部を改正する条例案

清須市監査委員条例等の一部を改正する条例

建設部所管につきましては、第2条、清須市水道事業の設置等に関する条例及び清須市下水道条例の設置等に関する条例の一部改正となります。

改正内容につきましては、地方自治法の一部改正に伴い、引用法令条項のずれが生じたことにより、清須市水道事業の設置等に関する条例第5条及び清須市下水道事業の設置等に関する条例第5条中、第243条の2の2第8項を第243条の2の8第8項に改めるものでございます。

附則でございます。

この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

説明は、以上でございます。御審議のほど、よろしくをお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

これで質疑を終了し、議案第28号 清須市監査委員条例等の一部を改正する条例案の建設文教常任委員会所管分について採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第28号 清須市監査委員条例等の一部を改正する条例案の建設文教常任委員会所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第31号 市道路線の認定及び廃止についての説明をお願いいたします。

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

市長提出議案の89ページと説明資料の36ページを御覧ください。

議案第31号 市道路線の認定及び廃止について

市道路線の認定及び廃止をすることについて、道路法第8条第2項及び同法第10条第3項において準用する同法第8条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和6年2月22日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、区画整理事業に伴う道路の改築等に伴い、市道路線の認定及び廃止を行うため必要があるからです。

90ページから92ページまでが、認定する路線です。

路線番号1152、十軒3号線から路線番号4934、寺廻り2号線までの合計28路線で、93ページは認定路線の概要図です。

94ページから97ページまでが、詳細図です。

次に、98ページを御覧ください。廃止する路線です。

路線番号1152、十軒3号線から、路線番号4659、午2号線の7路線であり、99ペー

ジは廃止路線の概要図です。

100ページから102ページまでが、詳細図です。

内容といたしましては、春日新橋西土地区画整理事業による道路改築や道路用地としての寄附、名鉄西枇杷島駅西側の踏切廃止によるものです。

議案第31号の説明は、以上です。御審議のほど、よろしく申し上げます。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ありがとうございます。それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

これで質疑を終了し、議案第31号 市道路線の認定及び廃止についての採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

全員賛成でございます。

よって、議案第31号 市道路線の認定及び廃止については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

最後に、議案第32号 令和5年度清須市一般会計補正予算（第9号）案の建設部所管分について説明をお願いいたします。

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田です。

議案第32号について、建設文教常任委員会建設部所管分を一括して御説明いたします。

それではタブレットのmoreNOTEの設定を1画面表示にさせていただき、令和5年度一般会計特別会計補正予算書及び説明書の5ページを御覧ください。

第2表繰越明許費補正です。

建設部所管につきましては、上から4段目の8款土木費、2項道路橋梁費、事業名、道路維持補修事業1,098万円。繰越理由につきましては、道路占用物の支障工事に、不測の日数を要し、年度内での業務完了は困難であるためです。

続きまして、橋梁維持補修事業7,609万4,000円。繰越理由につきましては、橋梁補修の材料製作に不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難であるためです。

続きまして、4項都市計画費、事業名、新清洲駅北土地区画整理事業1億1,448万2,000円。繰越理由につきましては、道路占用物の支障工事に不測の日数を要し、年度内での業務完了が困難であるためです。

続きまして、新清洲駅付近鉄道高架事業4億3,509万9,000円。主なものの繰越理由につきましては、用地取得に係る権利者との交渉に不測の日数を要し、年度内での完了が困難であるためです。

続きまして、6ページを御覧ください。

第3表地方債補正です。

建設部所管につきましては、上から2段目と3段目です。

起債の目的及び限度額で、道路等整備事業、補正前限度額1億300万円、補正後限度額4,600万円、5,700万円の減額です。

続きまして、清洲駅前土地区画整理事業、補正前限度額1億4,600万円、補正後限度額1億1,800万円、2,800万円の減額です。

続きまして、歳入について御説明いたします。

14ページ、15ページを御覧ください。

一番上の表で、15款国庫支出金、2項国庫補助金、5目土木費国庫補助金、補正額3,019万8,000円の減額は、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金です。

主なものは、道路メンテナンス事業補助金870万1,000円の減額です。

続きまして、一番下の表で、16款県支出金、2項県補助金、6目土木費県補助金、補正額1,588万円の減額は、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金です。

主なものは、市町村土木事業費補助金（一般土木事業）851万9,000円の減額です。

続きまして、18ページ、19ページを御覧ください。

上から2つ目の表で、21款諸収入、5項雑入、2目雑入、補正額1億9,993万4,000円の減額のうち、建設部所管は、7節土木費雑入1億6,171万4,000円の減額です。

主なものは、新清洲駅付近鉄道高架事業補償金1億5,677万円の減額です。

続きまして、22款市債、1項市債、2目土木債、補正額8,500万円の減額は、1節道路橋梁債と2節都市計画債です。

主なものは、道路等整備事業債5,700万円の減額です。

続きまして、歳出について御説明いたします。

26、27ページを御覧ください。

表の一番下で、6款農林水産業費、1項農業費、4目農地費、補正額110万6,000円の減額は、12節委託料と18節負担金、補助及び交付金です。

説明欄を御覧いただきまして、主なもので、土地改良費の減額は、委託料の減額により補正するものです。

続きまして、28、29ページを御覧ください。

上から2つ目の表で、8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、補正額7万5,000円の減額は、8節旅費です。

説明欄を御覧いただきまして、地籍調査費の減額は、地籍調査に関する研修がウェブ研修になったため補正するものです。

続きまして、2項道路橋梁費、2目道路維持費、補正額8,297万8,000円の減額は、10節需用費から14節工事請負費までです。

説明欄を御覧いただきまして、主なもので、道路維持補修費の減額は、愛知県の街路整備事業に伴う道路占用物の支障工事に不測の日数を要したため、雨水管整備を取りやめたため補正するものです。

3目道路新設改良費、補正額1,094万4,000円の減額は、10節需用費から21節補償、補填及び賠償金までです。

説明欄を御覧いただきまして、主なもので、市道西中蓮池線等整備費の減額は、入札差金による減より補正するものです。

4目橋梁維持費、補正額109万円の減額は、12節委託料です。

説明欄を御覧いただきまして、橋梁維持補修費の減額は、国庫補助金の減額に伴う事業精査により補正するものです。

続きまして、30、31ページを御覧ください。

一番上の表で3項河川費、1目河川総務費、補正額51万6,000円の減額は、12節委託料です。

説明欄を御覧いただきまして、雨水貯留施設管理費の減額は、調整池の保守点検委託料を減額するため補正するものです。

続きまして、4項都市計画費、1目都市計画総務費、補正額641万4,000円の減額は、12節委託料です。

説明欄を御覧いただきまして、都市計画事務費の減額は、主なもので、入札差金により補正するものです。

2目土地区画整理費、補正額5,740万9,000円の減額は、12節委託料と18節負担金、補助及び交付金です。

説明欄を御覧いただきまして、主なもので、道路整備事業負担金の減額は、国庫補助金の減額に伴う事業精算により補正するものです。

4目鉄道高架費、補正額1億8,976万8,000円の減額は、11節役務費から21節補償、補填及び賠償金までです。

説明欄を御覧いただきまして、鉄道高架整備費の減額は、用地交渉や名鉄協議により、事業費を精査することにより補正するものです。

7目公園費、補正額776万8,000円の減額は、10節需用費から14節工事請負費です。

説明欄を御覧いただきまして、主なもので、都市公園整備費の減額で、入札差金により補正するものです。

建設文教常任委員会建設部所管分の説明は、以上でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。ページはどこでもいいです。いいですか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（野々部 享君）

ないようですので、これで質疑を終了させていただきます。

以上で、建設文教常任委員会に付託されました議案のうち、建設部、水道事業所管分についての審査は、終了いたしました。

なお、教育委員会所管分につきましては、明日3月13日水曜日、午前9時30分から審査を行います。

これをもちまして、本日は散会といたします。

早朝よりありがとうございました。お疲れさまでした。

(時に午前 1 1 時 4 7 分 散会)

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和6年3月12日

建設文教常任委員会委員長 野々部 享